

日本 EU 学会
第 24 回 (2003 年度) 研究大会

共通論題「EU の拡大」

2003 年 11 月 1 日 (土), 2 日 (日)

会場： 北海道大学

日本 EU 学会第 24 回（2003 年度）研究大会のご案内

日本 EU 学会第 24 回（2003 年度）研究大会を下記の通り開催いたします。
ご多忙とは存じますが、万障お繰り合わせの上、ご出席下さいますようご案内申し上げます。

2003 年 9 月吉日 日本 EU 学会理事長 田中 俊郎

日時： 2003 年 11 月 1 日（土）、2 日（日）

会場： 北海道大学大学院経済学研究科・経済学部（受付：北海道大学人文・社会科学総合教育研究棟）

〒060-0809 札幌市北区北 9 条西 7 丁目

電話番号 011-706-3172（佐々木隆生研究室）

交通機関： 地下鉄「北 12 条」下車徒歩 10 分（約 600m）、「札幌」下車徒歩 10 分（約 600m）

JR 札幌駅「北口」から徒歩 10 分（約 600m）

中央バス「北大正門前」下車徒歩 5 分（約 300m）

第1日（11月1日）

開場（受付開始） 12時30分 *理事会は12時に開催します。

| 共通論題「EUの拡大」 | | | |
|--------------------------|----------------------|--|------------------|
| 分科会（13時－14時50分：報告時間各20分） | | | |
| 区分 | 報告者 | 論題 | 司会者 |
| A | (1) 小久保康之 (静岡県立大) | キプロスのEU加盟と南北キプロス問題への影響 | 白井実稲子 (駒沢女子大) |
| | (2) 八谷まち子 (九州大学) | EUの「飛躍的拡大」とトルコ | 同上 |
| | (3) 蓮見雄 (立正大学) | 拡大EUの中のロシア－カリーニングラード問題－ | 同上 |
| B | (1) 岡部みどり (東大・院) | EU「ヒトの移動」管理政策の戦略的側面 | 三露久男 (日本大学) |
| | (2) 井上直子 (東大・院) | イタリア・スロヴェニア国境を挟む協力：「ゴリツィア、ノヴァ・ゴリツィア、シエムペテル・ヴルトイバ、発展のための和解プログラム」の分析から | 同上 |

| | | | |
|------------------|---|--|---------------------|
| | (3) 三浦信孝 (中央大学) | フランス政治哲学における欧州 問題 | 同上 |
| C | (1) 武田健 (早大・院) | 欧州委員会の組織的病理－官僚 政治と行政文化－ | 福田耕治 (早稲田大 学) |
| | (2) 中野聡 (豊橋創造 大) | 欧州社会モデルとソーシャルダ イアログ－“ユーロコーポラティズ ム”の形成？ | 同上 |
| | (3) 鈴木邦成 (文化女子 大) | 欧州郵便市場統合をめぐる郵政 事業の変化 | 同上 |
| 休憩（10分） | | | |
| 全体セッション（15時－17時） | | | |
| | 報告者 | 論題 | 司会者 |
| (1) | 羽場久み子 (法政大学) | EUの拡大と中・東欧の課題 －国家、民族、安全保障 | 田中俊郎 (慶應義塾大学) |
| (2) | Prof. Giuseppe Schiavone (ローマ大学) | The EU Expansion and the Draft Constitution: Towards a Pan-European Economic and Security Architecture? | 小室程夫 (神戸大学) |
| 総会（17時－17時15分） | | | |

懇親会（17時30分－19時30分）

第2日目（11月2日）

開場（受付開始）9時30分

| 午前の部（10時－12時） | | |
|--------------------|---|----------------|
| 報告者 | 論題（報告時間各30分） | 司会者 |
| (1) 田中宏 （立命館大学） | EUの東方拡大と東欧のEU加盟 —拡大理論の手がかりを探す— | 円居総一 （日本大学） |
| (2) 鈴木一人 （筑波大学） | EUの拡大と共通防衛安全保障政策 における制度の柔軟性：「能力問題」を 中心に | 辰巳浅嗣 （阪南大学） |
| 昼食・休憩／理事会（12時－13時） | | |
| 総会（13時－13時15分） | | |

| 午後の部（13時15分－15時15分） | | |
|-------------------------|-----------------------------------|---------------|
| 報告者 | 論題（報告時間各20分） | 司会者 |
| (1) 植田隆子 (国際基督教大学) | EUの拡大と共通外交安全保障政策 | 大隈宏 (成城大学) |
| (2) 村上直久 (長岡技術科学大学) | 欧州統合をめぐる米国の論理 －歴史的变化と拡大への影響－ | 同上 |
| (2) 中村英俊 (長崎シーボルト大学) | 「民生パワー」概念の再検討 －EUの対イラク政策を事例として | 同上 |

〔注意点〕 以下の点につき、報告者を含めてご注意下さい。

1. 出欠のご返事は、10月10日（金）必着にてお願い申し上げます。
2. 各会場等の場所に関する詳細は、当日お知らせいたします。
3. 報告担当者は、すでにご通知のとおり、10月10日（金）必着にてレジユメ原稿(A4サイズ)を北海道大学経済学研究科・佐々木隆生教授宛にて、できる限り郵送でお送り下さい（〒060-0809 札幌市北区北9条西7丁目 北海道大学大学院経済学研究科 佐々木隆生研究室）。やむを得ずE-メールをご利用される方はワード添付ファイルにてお願いします（sasakit@econ.hokudai.ac.jp）。万一期日までにお送りいただけない場合には、各自の責任にて当日会場まで150部（分科会報告者は70部）ご持参下さい。
4. 報告のフル・ペーパーを10月25日より当学会ホームページ（<http://www2.odn.ne.jp/eusa-japan/>）に掲載し、会員がダウンロードできるように致します。報告者は、ご報告のフル・ペーパーを10月20日正午必着にて司会者（当プログラムで確認の上、会員名簿参照）および事務局メール・アドレ

ス(eushoji@mb.infoweb.ne.jp)まで添付ファイルにてご送付下さい。

5. 第1日目の研究発表終了後、懇親会を開きますので、ふるってご参加下さい。会費は、5,000円です。場所は、当日ご案内申し上げます。
6. 第2日目の昼食は、開催校でお弁当(800円)をご用意いたします。出欠連絡はがきに可否をご記入下さい(ご記入なき場合はご希望に添いかねます)。
7. アジア太平洋EU学会ジャーナル第1号(英語)が発行されました。希望者に今回のみ1冊につき特別価格500円で当日販売致します。なお、100部用意しておりますが、売れ切れの場合はご容赦下さい。通信販売等は予定しておりません。